



藤枝市制施行60周年記念企画展

新幹線を生んだまち 藤枝

東海道新幹線開業50周年記念

2014年 4 / 13 日

▶ 5 / 25 日

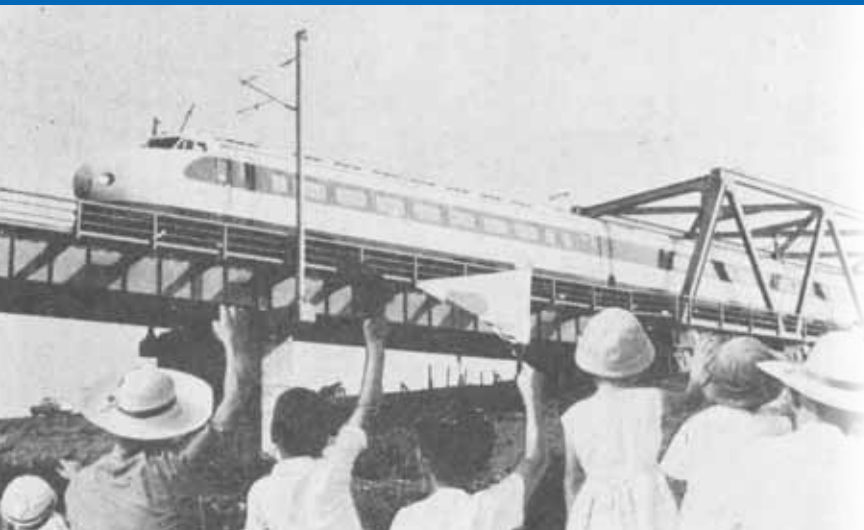


藤枝駅に停車中の高速度試験列車(昭和34年7月、藤枝市民提供)

藤枝での高速度試験が 新幹線誕生への布石となった!

特急こだま
記念撮影コーナー

毎週日曜日は
ミニ新幹線
ミニSL乗車会
【雨天中止】



開業前の試運転で大井川鉄橋を渡る新幹線(昭和39年7月)

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内) TEL054-645-1100

開館時間 9:00~17:00 休館日 4/14(月)・5/7(水)・5/12(月)・5/19(月)

入館料 大人 200円・団体 160円【藤まつり期間中(4/19~5/5)は無料】

中学生以下無料・障害者手帳等をご提示の方および必要な介助者は無料

昭和39年(1964)10月1日に開業した東海道新幹線の開業50周年を記念して、日本が世界に誇る安全・快適な夢の超特急「新幹線」誕生の大きな舞台となった、藤枝市と新幹線のかかわりの歴史について紹介します。

昭和34年(1959)7月、東海道本線の金谷駅～藤枝駅間の上り線で特急こだまによる高速度試験が行われ、藤枝市内の瀬戸踏切付近で当時の狭軌線の世界最高速度163km/hを記録し、新幹線実現の技術的裏付けとなりました。翌35年(1960)には、クモヤ93形式架線試験車による高速度試験も行われ、このときには島田駅～藤枝駅間(市内上青島)に1.3kmに及ぶ試験線区(第3線)が敷設され、線路設備の耐久性やパンタグラフ性能の検証なども行われました。

企画展では、当時の実物資料・写真や模型・ジオラマを通して、藤枝市が世界に羽ばたく「新幹線」誕生の舞台になったことや、新幹線の歴史や車両の移り変わりなどについて紹介します。



上/東海道本線での高速度試験を伝える『静岡新聞』朝刊
〔左〕昭和35年(1960)1月9日、〔右〕昭和34年1月15日
下/炎天下の高速度試験 藤枝市内の瀬戸踏切付近(昭和34年7月31日)
(鉄道博物館提供)

展示協力

新幹線原点のまち藤枝を伝える会
米山淳一氏(地域遺産プロデューサー)
鉄道博物館 山口雅人氏

展示のみどころ

- ◎鉄道博物館より借用した特急こだま資料を展示
- ◎高速度試験の様子をジオラマで再現、記録映像も上映!
- ◎新幹線の歴史と車両を紹介 東海道新幹線から延伸する新幹線まで
- ◎新幹線お宝グッズの展示



ヘッドマーク「こだま」1964年頃(鉄道博物館所蔵)



狭軌高速度記録票(チャンピオンマーク)
鉄道博物館所蔵 ※今回は複製品を展示

レトロな「特急こだま」「新幹線」お宝グッズコーナー



山口雅人氏所蔵

「特急こだまの高速度試験」再現ジオラマ



藤枝市内の瀬戸踏切付近(1/150) 村山靖氏制作

新幹線を学ぶ講演会

講演会①「新幹線と日本人の生活文化」

日時 4月20日(日) 午後2時～3時30分
講師 米山淳一氏
(地域遺産プロデューサー・横浜歴史資産調査会常務理事)

講演会②「海を渡った新幹線技術」

日時 5月18日(日) 午後2時～3時30分
講師 鈴木學氏(株)日立製作所 交通システム社技監、藤枝市出身)

会場 文学館 講座学習室 定員 各回60名(申込順)
受講料 大人200円・中学生以下無料
申込み 電話・FAX・Eメールで郷土博物館へ

史跡探訪 藤枝の鉄道遺産めぐり “鉄学の道”

日時 5月11日(日) 午前9時～午後0時20分【雨天決行】
講師 山内達仁さん(新幹線原点のまち藤枝を伝える会代表)
参加料 大人500円・中学生以下200円
定員 25名(申込み順)
申込み 4月26日(土) 午前9時より電話申込み開始

親子で楽しむ鉄道イベント

ミニ新幹線・ミニSL乗車会

毎週日曜日はミニ列車に乗ろう!
ミニ新幹線 ※雨天中止
4月13・27日(日)、5月4・18日(日)

軽便ミニSL「B15」

4月20日(日)、5月11・25日(日)
日時 午前10時～正午、午後1時～3時
場所 郷土博物館前広場
乗車料金 1回につき大人100円・中学生以下50円



JR東海・JR西日本承認済

楽しい鉄道模型運転会

新幹線や特急列車の模型が走るよ!

5月10日(土)・11日(日)
5月24日(土)・25日(日)
各日とも午前10時～午後4時
会場 博物館エントランスホール
実演 藤枝鉄道ファンクラブ
見学 入館料が必要です

